

NPO セントジョンアンビュランスジャパン協会の活動

医療法人同仁会 理事長

セントジョンアンビュランスジャパン協会 理事

松井 道宣

1. 活動について

NPO セントジョンアンビュランスジャパン協会の母体である St. John Ambulance Association はロンドンに本部があり、応急手当や心肺蘇生法を市民に教育するための教材の開発と作成、ボランティア教育、市民を対象とした First Aid 教育プログラムの実施などを行っています。その St. John Ambulance Association は 1887 年、英国で産声を上げました。現在、世界 22 カ国に支部を有し、40 カ国以上で First Aider が活躍しています。

St. John Ambulance の活動理念

“In the Service of Mankind” (人類への奉仕)

“In the Service of Mankind” の理念達成のためのボランティア活動

1. ボランティアによる組織的 First Aid 活動の実施
2. First Aid の重要性和意義の社会への普及
3. First Aid の研修と認定書の交付
4. 定期的な知識と実技のリフレッシュ講習実施

グローバルなネットワークによる “In the Service of Mankind” の世界的実現への努力
救急救命用具の開発と普及

日本では、1999 年 4 月、NPO セントジョンアンビュランスジャパン協会として経済企画庁(当時)より認可を受け活動を始めました。セントジョンアンビュランスジャパン協会の主な活動内容は次の通りです。

セントジョンアンビュランスジャパン協会の活動

- ① FIRST ADIER の養成。
- ② トレーナー (インストラクター) の養成
- ③ 大規模なイベントにおける救急救命活動を目的としたボランティア活動
- ④ 地域コミュニティーに貢献する社会福祉的な活動を支援
- ⑤ 上記活動に関連した講習・教育活動
- ⑥ セントジョンアンビュランスジャパン協会指定の救急救命器具の普及・販売

2. 教育方法について

中でも現在、もっとも力を入れているのが First Aider の養成であり、以下のカリキュラムで普及活動を行っています。

Basic First Aid Course

第1日 (8時間)	第2日 (8時間)
1. ファーストエイドの必要性和活動の位置づけ	1. 意識のある傷病者・ショック
2. ファーストエイダーの使命	2. 出血への対処 (外出血)
3. インシデントマネージメント	3. 救急包帯法・三角巾の取り扱い
4. 応急手当の優先順位	4. 止血法(圧迫止血法)
5. 初期診断時の行動	5. 想定傷病者の手当て 胸部損傷への対処 腹部損傷への対処 頭部外傷への対処
6. リカバリーポジション	6. 筆記テスト
7. 人工呼吸	7. 最終実技訓練
8. CPR	
9. 筆記テスト	

St. John Ambulance の教育の特徴はその方法にあります。(ISO9001 認証) St. John Ambulance が取り入れている技術指導に関するシステムは、学習プログラムを以下の4構成に分けています。

技術指導に関する EDIP システム

① Explanation (説明)

受講者に技術の目的、意図、一般的な情報を提供するために設計されています。

② Demonstration (デモンストレーション)

トレーナーは一つ一つの手段を説明した完全な技術のデモンストレーションをします。受講者は達成しなければならない技術の水準を明確にします。

③ Imitation (模倣)

トレーナーは伝達する技術の一つ一つ確実に受講者が模倣できるように指導します。これによって伝達する技術の間違いを最小限にすることができます。

④ Practice (練習)

危険が伴わない限り、トレーナーは監視するだけで受講者が自分で間違いに気づきやり直すことができるように指導します。自分で試行錯誤しながら学習することはとても効果的です。

3. トレーナーの養成について

これらの講習を行なうトレーナーは、少なくとも Basic First Aid Course を終了し、さらに 5 日間 40 時間の教育に関するトレーナー基礎コースを受講します。基礎コース終了後に行なわれる実技試験に合格すると、実際に教えるコースごとに補足コースを受講し、これを終了し、イグザミナーが合格を認定した時点で、正式にトレーナーとして認められることになります。トレーナーは技術の伝達方法を学ぶだけでなく、人格的にもトレーナーとしてあるべき姿を教育されます

The Trainer	
Neutral	Open
Enthusiastic	Supportive
Warm	Friendly

トレーナーになるために受けるこのような教育が行なわれる理由は、St. John Ambulance の技術伝達の精度を守るためと受講者に必ず技術を習得させることを目的としているからです。

4. AED への取り組みについて

英国の St. John Ambulance では、2002 年から AED Course を始めています。このコースは、事前に First Aid Course を終了していなくても、受講可能です。講習時間は最低 4 時間で、講習内容は以下の通りです。

Scheme of work

Session	Content
D1	Reception, Registration, Welcome, Safety and Comfort
D2	Course Objectives, methodology, assessment criteria
D3	Describe an action plan for incident management
D4	Initial assessment, CPR & Recovery position
D5	Recognize the imitations of CPR
D6	The Chain of Survival
D7	The Automated External Defibrillator(AED)
D8	Casualty management using the AED
D9	Deal with the aftermath

講習は必ずトレーナー1人に対して受講者6名以下で行なわれ、通常は受講者12名に対し3名のトレーナーで講習会を行なっています。講習の最初の2時間は事例の管理、傷病者の評価、CPRについて行なわれ、後の2時間でAEDの操作について学びます。講習終了後、技術評価が行なわれ、以下のことができると認められた受講者に対して認定書が発行されます。

Student objectives

- Create an action plan
- Assess a casualty
- Provide Cardio-pulmonary Resuscitation.
- Place a casualty in the recovery position.
- Use the type(s) of AED(s) on which they have been trained and assessed.
- Manage an incident in which they use the AED to defibrillate a casualty in Cardiac arrest without oxygen, suction and other adjuncts to resuscitation.

5. おわりに

わが国において救急救命率を向上させるためには何が必要であるのかは十分に理解されていますが、救急先進国とのギャップは大変大きなものがあります。人的に国境がなくなりつつある現代において、わが国の救急医療体制の状況は早急に改善されなければなりません。世界とのギャップが存在しているままでは、世界的に安全、安心な国という評価は受けられないでしょう。今必要なことは、市民による救命の連鎖への参加です。そのためには、さらに以下のことが必要です。

- ① 市民に迅速な心肺蘇生法を正しく行うための知識と技術を習得させること。
- ② 市民に迅速な除細動を正しく行うための知識と技術を習得させること。
- ③ 身近に傷病者が発生した場合、躊躇することなく、手を差し伸べることができるように市民を啓蒙すること。

セント ジョン アンブユランス ジャパン協会はAEDを含む救急救命法の普及と市民の意識の向上に貢献します。